

ミニシンポジウム

AI for Research Administration

～URAに求められることとは～

プログラム

14:00-14:10 開会挨拶

14:10-14:50 講演①「研究領域における生成AIの利活用の可能性(仮)」

阪口福太郎 氏

(日本マイクロソフト株式会社 Sr. AI Specialist /
Education AI 事業開発責任者)

14:50-15:20 講演②「メタサイエンスから見た生成AIの影響」

丸山隆一 氏

(メタサイエンス研究会)

15:20-15:40 休憩

15:40-16:30 講演③「文部科学省におけるAI for Science施策について」

三上紘史 氏 (文部科学省 研究振興局 参事官(情報担当)
付 次世代情報基盤技術係長(AI for Science担当))

16:30-17:00 パネルディスカッション

17:00-17:10 閉会挨拶

18:00頃～ 情報交換会(懇親会)

日時：2026年6月30日(火)

場所：横浜国立大学 中央図書館メディアホール

(〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-6)

形態：現地100名 + オンライン

参加費：無料 ※懇親会は別途

対象：生成AIの利活用に興味のある方

※URAに限らず、どなたでも大歓迎

参加申し込み方法：

↓QRコード



もしくは
URLから

<https://forms.gle/jLS7exr4yDhsm1y28>

共催：

RA協議会 スキルプログラム専門委員会公認勉強会

「生成AIとURA業務」

横浜国立大学 URA育成教育研究センター

 URA育成教育研究センター



勉強会HPはこちら